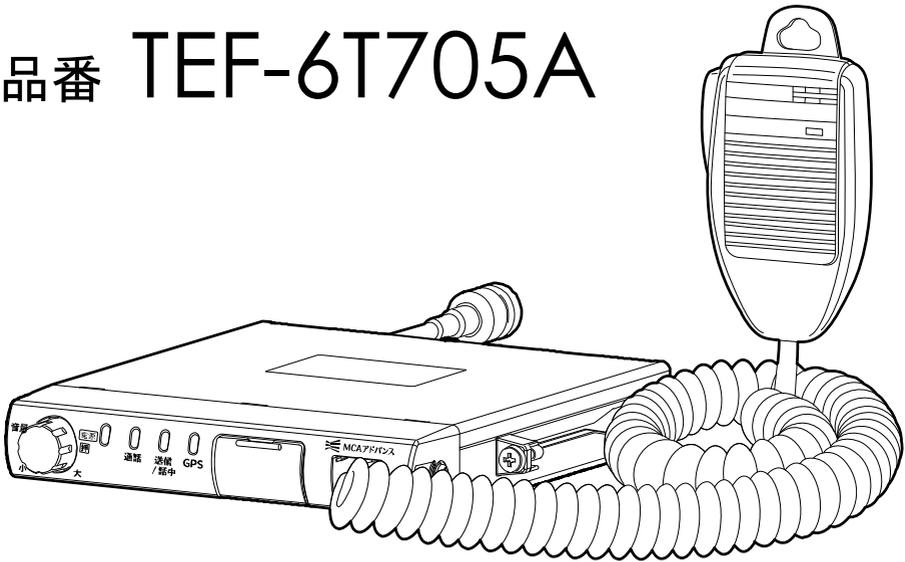


MCA アドバンス車載機 取扱説明書

品番 TEF-6T705A



保証書別添付

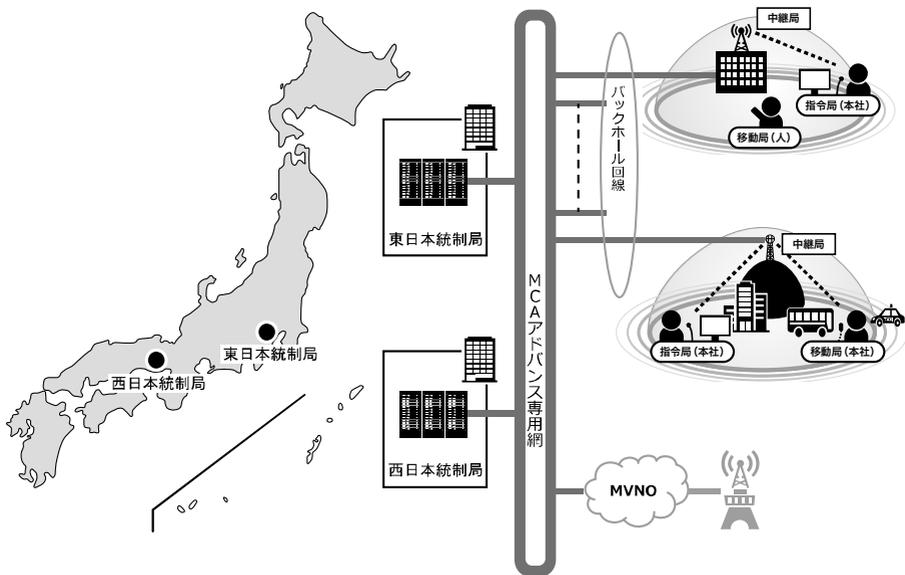
- このたびは、MCAアドバンス車載機をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」、「正しくご使用いただくために」(2～8ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「販売店名・お買い上げ日」などの記入を必ずお確かめになり、販売店からお受け取りください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

目次

MCA アドバンスについて	1
安全上のご注意	2
正しくご使用いただくために	5
製品構成	9
通話種別	10
各部の名称とはたらき	11
ランプ表示とお知らせ音	13
使用可能なマイクについて	15
ご使用前の準備	16
接続方法	18
電源を入れる／切る	20
音量を調節する	22
通話を行う	23
設置の際のご注意	25
保守／点検	27
故障と思われる前に	28
仕様	29
保証とアフターサービス	29

MCA アドバンスについて

MCA アドバンスは、国際的に標準化された LTE 技術を適用し、自営無線の特長である高い耐災害性・信頼性に加えて低コスト・高セキュリティで利便性に優れた共同利用型の業務用無線です。



耐災害性

- 非常時も輻輳しにくい通信システム
- 装置二重化・バックホール回線二重化や中継局折返し
- 非常用発電機具備の耐震中継局と常時監視

信頼性

低コスト

高セキュリティ

- インフラ設備の共同利用による低コスト化
- 秘匿性・セキュリティを確保した通信

利便性

実用性

- 全国エリアで通信が可能
- GPS やデータ通信等、高度なサービスが簡易に利用可能

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

  	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 本機は、技術基準適合証明を受けた無線モジュールを搭載していますので、間違った設置及び使い方をすると電波法違反となります。ご使用前に「電波法についてのご注意」(6ページ)を必ずお読みください。

■本機の取り扱いについて

警告

病院内や医用電気機器のある場所には持ち込まない



禁止

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

植込み型医療機器装着者は使用しない



禁止

本機からの電波が植込み型医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

車を運転しながら操作しない



禁止

交通事故の原因となります。運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてからご使用ください。

車載配線の際には自動車のバッテリー端子に直接接続する



シガーライターソケット、およびヒューズボックスなどを経由しての接続は、火災や他の電子機器への障害の原因となります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にする



交通事故の原因となることがあります。

電源ケーブルを破損させない



禁止

傷つける、加工する、高温部に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる、踏みつけると破損につながり、ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。

ケーブルの修理は販売店へご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

■本機の取り扱いについて(つづき)

⚠ 警告

ヒューズは指定品を使用する



指定値(3A)以外のヒューズを使用すると火災の原因となります。

電源ケーブルは添付品 (ヒューズ 3A付)を使用する



許容量の少ないケーブルやヒューズのないケーブルを使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意

煙が出たり、変なにおいがする などの異常時は使用しない



そのまま使用すると、火災、感電、事故の原因となります。

禁止

本機の電源を切り、電源ケーブルを外して販売店へご連絡ください。

パイプ類、タンク、配線などを 傷付けない



車体に穴をあけて取り付けるとき、パイプ、タンク、配線などに傷を付けた場合、交通事故や火災の原因となります。

禁止

プラスアース車には使用しない



発熱、発火などの原因となります。

禁止

前方視界や運転操作を妨げない 取り付けをする



交通事故の原因となります。

ぬらさない



水ぬれ禁止

本機は防水対応ではありません。水が入ったり、ぬらした場合、火災、感電の原因となります。
内部に水などが入った場合は、まず本機の電源を切り、電源ケーブルを外して販売店へご連絡ください。

分解や改造をしない



分解禁止

異常動作したり、けがをすることがあります。

故障の際は販売店へご連絡ください。

正しくご使用いただくために

■登録商標/著作権

- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、トム通信工業株式会社はこれらのマークおよびロゴを使用許諾に基づいて使用しています。
- その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

■2.4GHz現品表示記号について

- 「2.4」 : 2.4GHz帯を使用する無線設備
- 「FH」 : FH-SS方式周波数ホッピング方式
- 「1」 : 想定干渉距離が10m以下
- 「■■■■」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。



■通信距離について

- 2.4GHz帯のBluetooth®の通信距離は約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。障害物がない空間で使用してください。また、車載で使用する場合、車種や本機の取付位置によって通信距離は変化します。

■電波干渉についてのご注意

- 本機で使用する2.4GHz周波数帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用を中止した上、販売店にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は販売店にご連絡ください。

■電波法についてのご注意

- 本機は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた無線モジュールを搭載しています。分解や改造をしないでください。
- 指定のアンテナを使用してください。また、ケーブル端でのアンテナ利得が3dBi 以下になるようにしてください。指定されたアンテナ以外を使用した場合、電波法違反となります。また、指定されたアンテナを使用した場合でも、ケーブル端での最大利得が 3dBi を超える場合は電波法違反となります。使用できるアンテナは、販売店にご相談ください。
- 本機は日本国内での使用を目的に設計・製造されています。日本国外では使用しないでください。
- 電磁波曝露の影響を最小限にするため、通常使用時に人体から20cm以上離れる位置に設置してください。

参考:『Body-SAR に関する制度の運用のガイドライン』

■MVNOドングルの取り扱いについて

- 植込み型医療機器を装着している場合は、MVNOドングルを植込み型医療機器の装着部位から15cm程度以上離して使用してください。

参考:『各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針』

- MVNOドングルは必ず指定品を使用してください。
- MVNOドングルは絶対に改造しないでください。
- 本機はMVNOドングルを使用して携帯電話通信網を利用した通信を行うことができます。本機の保証範囲は携帯電話通信網を含みません。

■GPS 位置情報について

- 内蔵されている GPS モジュールは、人工衛星からの電波を利用し、位置情報を取得します。屋外など、頭上に遮るものがないところであっても、人工衛星からの電波の受信状態によっては、位置情報の取得に時間を要したり、位置情報にズレが発生することがあります。
- GPSアンテナは、指定されたものを使用してください。

■推測航法について

- 本機は推測航法に対応しています。人工衛星からの電波が受信できないトンネル内などでは、加速度センサーやジャイロセンサーを用いた位置推測を行い、位置情報を取得します。
- 人工衛星からの電波が届かない場所を長距離走行すると位置情報の精度は低下します。また、電源投入直後は推測航法での位置推測を行うことができません。

■ 取り付け、接続について

- 本機は12V車、24V車に対応しています。それ以外の車では使用しないでください。
- 付属のヒューズ付き電源ケーブルを車両のバッテリーと接続して、バッテリーから電源供給するようにしてください。
- 電源の極性を逆に接続しないでください。
(電源ケーブルを逆に接続するとヒューズが切れるおそれがあります。)
- 本機の取り付けはしっかり行ってください。また、配線の引き回しは、運転の妨げにならないよう十分配慮してください。
- 冷暖房の吹き出し口には取り付けしないでください。
- 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所には取り付けしないでください。
- 本機にオプション品を接続して使用するときは、必ず指定品を使用してください。指定品以外を使用すると、故障の原因になります。
- 本機を電源装置と接続する場合、指定された電源装置を使用してください。
- 本機にオプション品を接続するときは、接続は確実に行ってください。

■ 取り扱いについて

- エンジンを持ったまま使うと、車のバッテリーを消耗させてしまうことがあります。
必ずエンジンをかけた状態でご使用ください。
- 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所の設置は避けてください。真夏に長時間、屋外駐車をしたときは車内の温度が高くなりますので、温度を下げてからご使用ください。
- 本機に水などがかからないように注意してください。内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、電源ケーブルを外してお買い上げの販売店へご連絡ください。
- 極端な高温・低温の環境下での利用は避けてください。故障の原因になります。
動作温度 -20 ~ +60°C
- 通話時は口元からマイクを約3cm離してご利用ください。距離が近いと、音声割れたり、歪むことがあります。

■ MCA通信、MVNO通信について

- 通信サービスエリア内であっても、トンネル・地下・建物の中など電波状態の悪いところでは、ご使用になれない場合があります。
- 無線による通信を行っているため、電波状態が悪い所へ移動すると、通信が途切れることがあります。

■使用後について

- 1日の使用が終わりましたら、車のバッテリーが上がらないように必ず本機の電源を切ってください。

■お手入れについて

- 掃除にシンナーやアルコールなどを使用しないでください。
- 内部の点検・修理は販売店へ依頼してください。
- 年に一度は内部の掃除を販売店へご相談ください。長い間掃除を行わずに、本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店へご相談ください。

本機の誤動作、不具合、あるいは停電時などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済的損失については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本機は日本以外ではご使用になれません。

This device is exclusively for use in Japan.

製品構成

■車載機 TEF-6T705A

品名	数量	備考
本体	1	
電源ケーブル	1	赤: +、黒: アース、白: ACC線
ヒューズ付き電源ケーブル	1	ヒューズ 3A
SIMカードカバー用保護シート	2	1枚は予備
保証書	1	
取扱説明書	1	本書

■MVNO ドングル

品名	品番	備考
MVNOドングル	TM-C102A	
MVNOドングルケース	TM-Z013A	保護ケース
MVNOドングル接続用ケーブル	TEZ-0049AA	

※MVNO 通信をご使用になる場合、別途、通信費用が発生します。詳しくは販売店にご確認ください。

■オプション品

品名	品番	備考
GPSアンテナ	TEZ-0050AA	ケーブル長: 約5m
取付金具	TEZ-0055AA	取付用ネジ付属

■接続可能な周辺装置

品名	品番	備考
3ウェイ電源装置	TDF-103	
AC電源装置	PE-807B	
電話接続装置	CET1309FA	
eブリッジアダプター	CET1378FA	
デジタルMCA	EF-6195**	
移動無線電話装置	FM-857F02**	
LANアダプター	TA-Z510BAD	

※接続に必要なケーブルは、販売店にご確認ください。

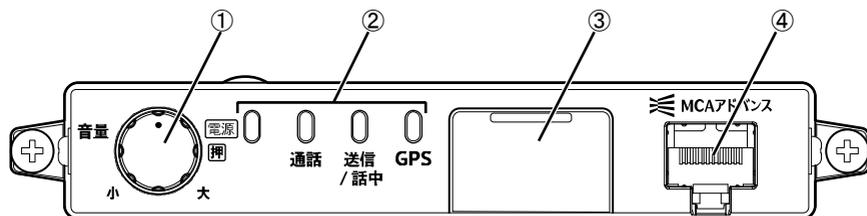
通話種別

No	通話種別	通話	備考
1	個別通信	指定した無線機とのみ通話することができます。	
2	グループ通信	指定したグループの無線機と通話ができます。 ただし、別の呼で通話中の無線機は、通話中の呼を継続するため、グループ通信には参加できません。	
3	一斉通信	指定したグループの無線機と通話ができます。 別の呼で通話中の無線機は、呼が切断され強制的に一斉通信の呼に引き込まれるため、グループ通信に参加することができます。	
4	臨時グループ通信	発信先の端末を複数選択し通話することができます。 ただし、別の呼で通話中の無線機は、通話中の呼を継続するため、臨時グループ通信には参加できません。	
5	臨時グループ一斉通信	発信先の端末を複数選択し通話することができます。 通話中の無線機は、呼が切断され強制的に臨時グループ一斉通信の呼に引き込まれるため、臨時グループ一斉通信に参加することができます。	

※この他にも選択できる通話種別があります。通話種別の詳細については、販売店にご確認ください。

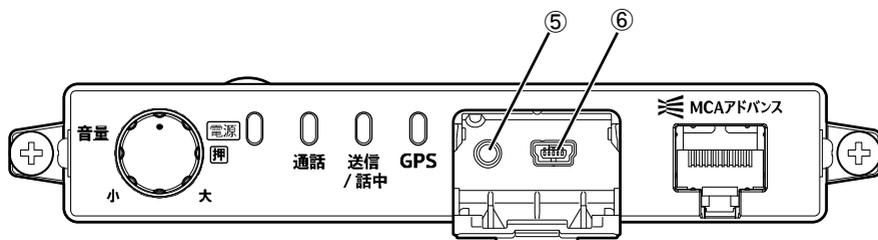
各部の名称とはたらき

(1) 前面



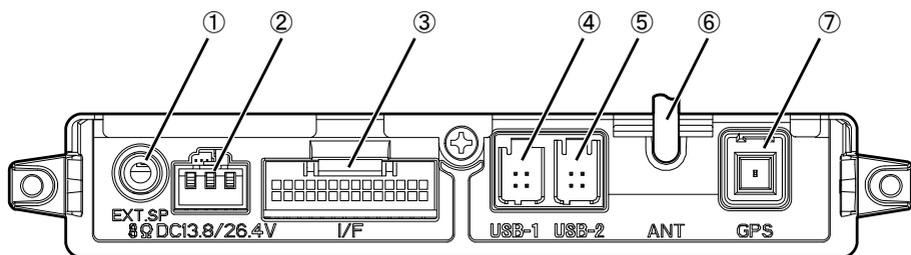
No	名称	機能	備考
①	電源スイッチ／音量つまみ	電源の入り切り／音量の調整を行います。	
②	状態表示ランプ	本体の状態を表示します。 (電源、通話、送信/話中、GPS)	※1
③	カバー	スイッチ、コネクターを保護します。	
④	スピーカー・マイク I/F	各種マイクを接続します。	

※1 ランプ表示については13ページの「ランプ表示とお知らせ音」を参照してください。



No	名称	機能	備考
⑤	BT ペアリングスイッチ	Bluetooth マイクとペアリングするときに押下します。	
⑥	保守用 USB	ソフト保守用(ADB)I/F。	

(2) 背面



No	名称	機能	備考
①	外部スピーカー出力	3 ウェイ電源装置などの外部スピーカーを接続します。	※1
②	電源入力	専用電源ケーブルを接続します。	※2
③	外部機器接続用 I/F	専用のケーブルを接続することで、シリアル接続、外部情報線、パラレル IO が使用できます。	※3
④	外部機器接続用 USB (ロック付きコネクタ)	LAN アダプター等の USB 機器を接続します。	
⑤	MVNO ドングル接続用 USB (ロック付きコネクタ)	通信ユニットを接続します。	
⑥	MCA アドバンス用アンテナ	MCA アドバンス用アンテナを接続します。	
⑦	GPS アンテナ	本体内蔵の GPS を使用する場合に、GPS アンテナを接続します。	

※1 φ3. 5mmモノラルプラグのスピーカーが接続できます。使用する場合は8Ω、定格2W以上のものを使用してください。

※2 必ず付属の電源ケーブルを接続してください。また、車両設置で使用する場合、付属のヒューズ付き電源ケーブルのギボシ端子側を電源ケーブルと接続し、もう一方をバッテリーと接続して、バッテリーから直接電源を供給するようにしてください。

※3 ケーブルを接続する場合、保護用のコネクタを外してください。オプション品のケーブルについては、販売店にお問い合わせください。

ランプ表示とお知らせ音

本機の各ランプ状態表示は以下のとおりです。

No	状態	電源	通話	送信／話中	GPS
1	起動中	橙 (点灯)	橙 (点灯)	橙 (点灯)	橙 (点灯)
2	設定情報変更中	緑 (点灯)	消灯	赤 (点滅)	—
3	待受け状態	緑 (点灯※1)	消灯	消灯	—
4	通話中(呼に接続中)	緑 (点灯※1)	緑 (点灯)	消灯	—
5	送話中	緑 (点灯※1)	緑 (点灯)	緑 (点灯)	—
6	受話中	緑 (点灯※1)	緑 (点灯)	赤 (点灯)	—
7	圏外	緑 (点灯)	消灯	赤 (点灯)	—
8	GPS 測位状態	緑 (点灯※1)	—	—	緑 (点灯)
9	GPS 未測位状態	緑 (点灯※1)	—	—	消灯
10	GPS 異常	緑 (点灯※1)	—	—	赤 (点灯)
11	Bluetooth ペ어링中 ※3	緑 (点灯※1)	赤 (点灯)	赤 (点灯)	赤/緑 (点滅※2)
12	Bluetooth 登録機器全削除中	緑 (点灯※4)	赤 (点灯※4)	赤 (点灯※4)	赤 (点灯※4)
13	保守モード	橙 (点灯)	消灯	消灯	消灯
14	ADB 機能有効化	橙 (点灯※4)	消灯 (※4)	消灯 (※4)	消灯 (※4)

・「—」はランプが何色でもその状態に影響が無いことを意味します。

- ※1 MCA 回線接続時は緑点灯、MVNO 回線接続時は緑点滅(点灯 1 秒、消灯 1 秒)します。
MCA 回線と MVNO 回線を LED 表示で区別しない場合は、いずれかの回線に接続時に緑点灯します。
MCA 回線と MVNO 回線の LED 表示で区別するかどうかの設定は、パラメーターで設定されます。

※2 点滅の周期は、赤点灯 0.5 秒、緑点灯 0.5 秒、消灯 0.5 秒です。

※3 ペ어링完了後のリンクの状態は、Bluetooth マイクのランプ表示を確認してください。

※4 ほかのランプ表示より優先して、3 秒間点灯状態になります。

スピーカーから出力されるお知らせ音の代表的なものは以下のとおりです。

No	お知らせ音	名 称	説 明
1	ピリリー ピリリー ピリリー	一斉通信着信音	一斉通信着信時に鳴音します。
2	ピリリ ピリリ ピリリ ピリリ	個別単信着信音	個別単信着信時に鳴音します。
3	ピリリ ピリリ ピリリ ピリリ	グループ通信着信音	グループ通信着信時に鳴音します。
4	プッ プッ プッ	リングバックトーン	すべての呼種の発信時に鳴音します。
5	プー プー プー プー	発呼失敗音	発信が失敗した場合(相手話中は除く)に鳴音します。
6	プー プー プー プー	ビジートーン	相手話中の場合に鳴音します。
7	ピッ	通話指示音	発信が成功した時に鳴音します。
8	ピッ	送信権獲得音	プレス時に自局が送信権を獲得した時に鳴音します。
9	ピッピッ	送信権獲得失敗音	プレス時に自局が送信権を獲得できなかった時に鳴音します。
10	プップッ	終話予告音	通信時限の 10 秒前に鳴音します。
11	プー	終話音	終話時に鳴音します。

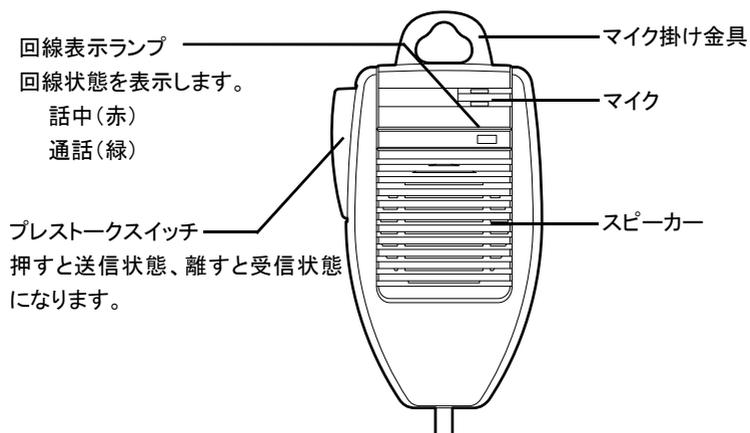
・この鳴音の他にもさまざまな状況に合わせて鳴音を出力することができます。

使用可能なマイクについて

本機で使用可能なマイクは次のとおりです。

製品名称	製品品番
スピーカーマイク	EF-M50018AA
ハイパースピーカーマイク	EF-M50010AA
テンキースピーカーマイク	FZ-3450A
テンキースピーカーマイク	EH-M01
ブルートゥース・スピーカーマイク	BTH-600-M
スタンドマイク	EA-M50024AA

スピーカーマイク(EF-M50018AA)の各部の名称とはたらきは次のとおりです。また、その他のマイクの使用方法は各マイクの取扱説明書を参照してください。

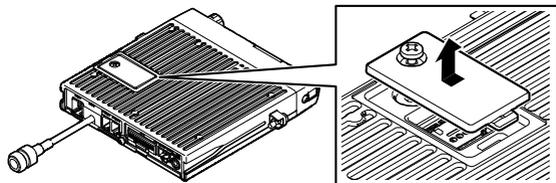


ご使用前の準備

■ micro SIM カードを取り付ける

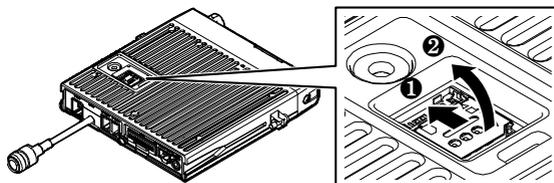
下記の手順にしたがって、指定の micro SIM カード(以下、SIM カードと呼びます)を取り付けてください。

- ① 本体裏面の SIM カードカバーのネジを緩めて SIM カードカバーを取り外します。

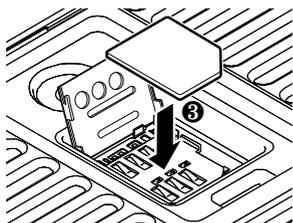


- ② SIM カードをカード台紙から取りはずします。
※ SIM カードの端子面に直接指で触れないでください。

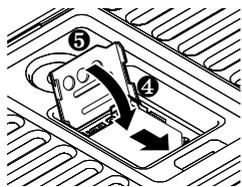
- ③ 本体裏面の SIM カードコネクタカバーのロックを外し(①)、カバーを持ち上げます(②)。
※ SIM カードの端子面や SIM カードコネクタの端子に直接指で触れないでください。



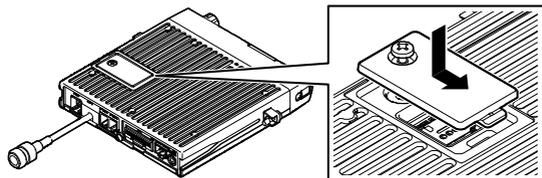
- ④ 切り欠き位置に注意し、SIM カードの端子面を下向きにして SIM カードコネクタに入れます(③)。



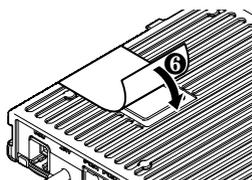
- ⑤ カバーを下げて(④)、ロックします(⑤)。
※ 「カチッ」と音がすることを確認してください。



- ⑥ SIM カードカバーを取り付け、ネジを締め付けトルク $0.2 \pm 0.04 \text{N} \cdot \text{mm}$ で止めてください。

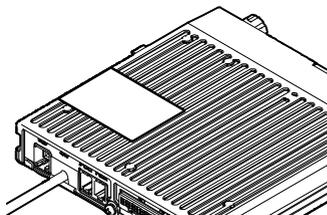


- ⑦ SIM カードカバー部に保護シートを貼ります(⑥)。



※ 保護シートは隙間ができないようにしっかりと貼り付けてください。

取付完了

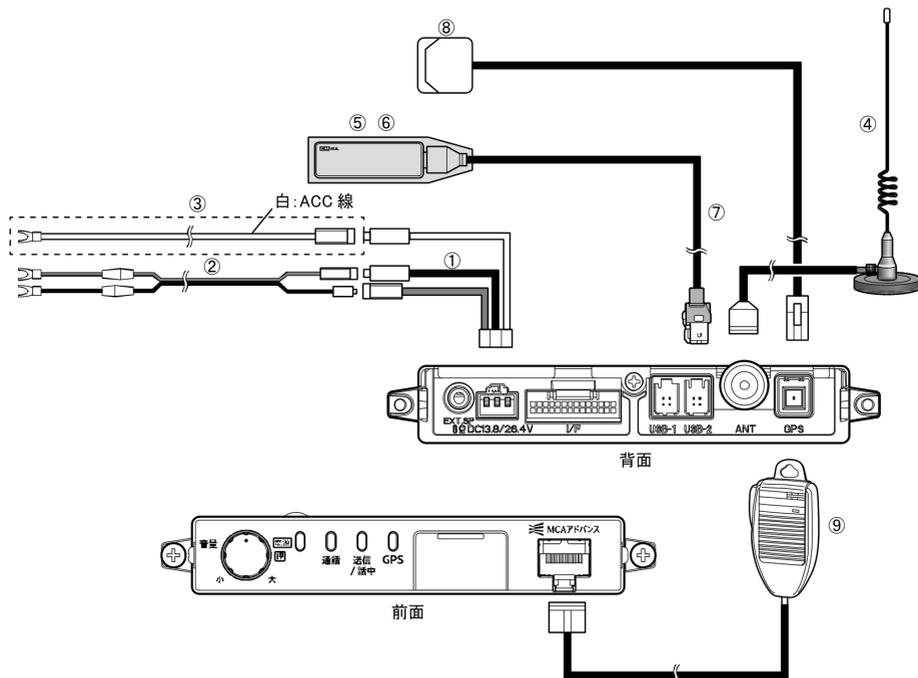


SIM カードの取り扱いに注意してください

- ◆ SIM カードの端子面を逆向きに入れたり、無理やりカバーを閉じたりしないでください。SIM カードや SIM カードコネクタが破損する原因になります。
- ◆ MVNO ドングル用の SIM カードを挿入しないでください。正しく通信が行えなくなります。本機で使用する SIM カードは、ともに micro SIM カードのため、挿入間違いしないように、注意してください。

接続方法

(1) 車両設置の場合



No	名称	備考
①	電源ケーブル	赤: +、黒:アース、白:ACC線
②	ヒューズ付き電源ケーブル	ヒューズ3A 付き(赤: +、黒:アース)※1 ケーブル長: 約2.5m
③	ACCケーブル	お客様調達※2
④	MCAアドバンス用アンテナ	※3
⑤	MVNO dongle	オプション品
⑥	MVNO dongle case	オプション品
⑦	MVNO dongle connection cable	ケーブル長: 約2m、オプション品
⑧	GPS antenna	ケーブル長: 約5m、オプション品
⑨	スピーカーマイク	オプション品

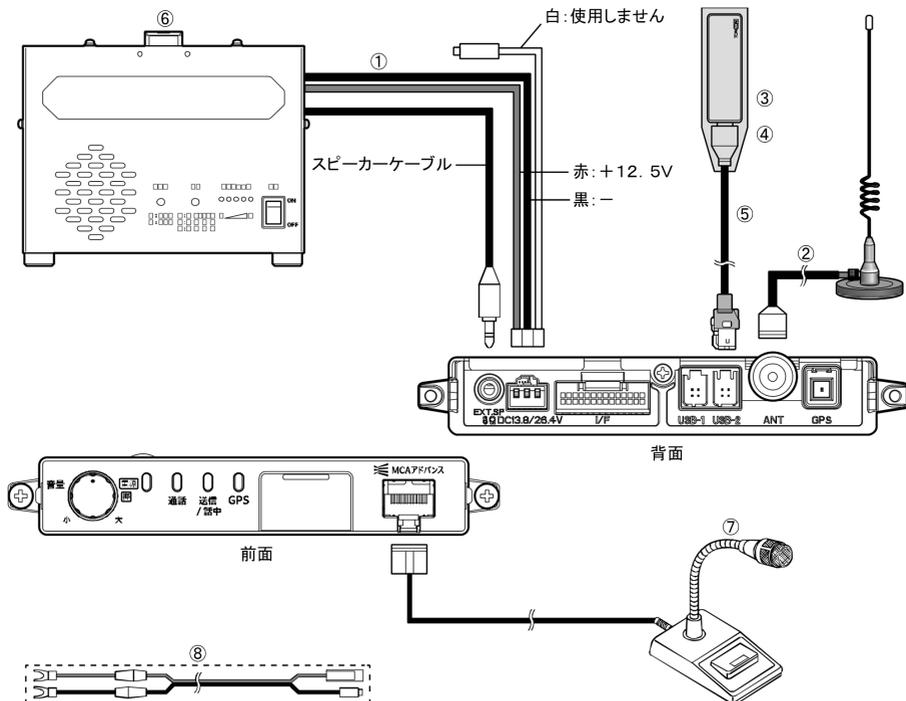
※1 電源ケーブルは車のバッテリー端子に直接接続してください。

また、必ず付属のヒューズ付き電源ケーブルを使用してください。

※2 ACC連動で使用するときには接続してください。

※3 必ず指定品を使用してください。指定品以外を使用すると、故障の原因及び電波法違反になります。

(2) 固定設置の場合



No	名称	備考
①	電源ケーブル	赤: +12.5V、黒: -、白: 使用しません
②	MCAアドバンス用アンテナ	※1
③	MVNOドングル	オプション品
④	MVNOドングルケース	オプション品
⑤	MVNOドングルケーブル	ケーブル長: 約2m、オプション品
⑥	3ウェイ電源装置	オプション品※2
⑦	スタンドマイク	オプション品
⑧	ヒューズ付き電源ケーブル	使用しません※3

※1 必ず指定品を使用してください。指定品以外を使用すると、故障の原因及び電波法違反になります。

※2 3ウェイ電源装置への取り付け方法は、26ページの「本機を3ウェイ電源装置に取り付ける」を参照してください。

※3 ヒューズ付き電源ケーブルは使用せず、電源ケーブルを直接3ウェイ電源装置の電源ケーブルに接続してください。

電源を入れる／切る

本機の電源操作は、以下の2つのモードがあります。

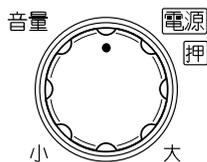
- 電源スイッチ操作 : 電源スイッチを操作することで、本機の電源を制御します。
- ACC連動 : ACCの状態に連動した電源制御をします。

■ 電源スイッチ操作の場合

(1) 電源を入れる

電源スイッチを押す

- 本機の全ランプが橙色点灯するまで、電源スイッチを押ししてください。



(2) 電源を切る

電源スイッチを押す

- 本機の全ランプが消灯するまで電源スイッチを押ししてください。

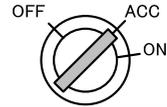
■ACC連動の場合

本機はACC線を接続することで、ACCに連動して動作します。

(1)電源を入れる

ACCをオンする

- 車のACCをオンします。
- 本機の全ランプが橙色点灯します。

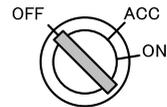


- ・ ACC連動であっても、電源スイッチを押すと本機の電源を入れることができます。

(2)電源を切る

ACCをオフする

- 車のACCをオフします。
- 約5秒後に、本機の全ランプが消灯します。

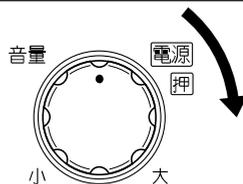


- ・ ACCオンのときは、電源スイッチを押しても本機の電源は切れません。

音量を調節する

音量を大きくする

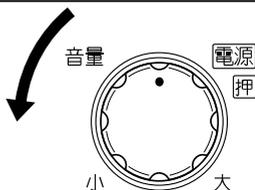
- 音量つまみを右に回します。



- ・ 音量つまみを右に回し切ると、音声の歪みや、音割れの原因となります。適切な音量に調節してください。

音量を小さくする

- 音量つまみを左に回します。



- ・ 音量つまみを左に回し切ると、音声が届かなくなります。適切な音量に調節してください。

つまみを回しても音量が変化しないとき

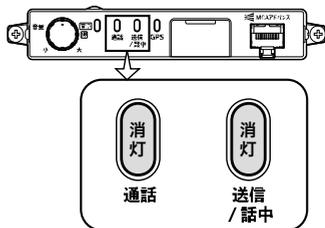
- ◆ 音量つまみを回しても音量が変化しないときは、パラメーターの設定が異なっている可能性があります。販売店にお問い合わせください。

通話を行う

次の内容を確認してから通話してください

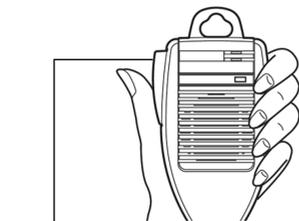
◆本機のランプの状態を確認してください

- 電源ランプが緑色に点灯し、通話ランプと送信／話中ランプが消灯しているときに、発信可能な状態です。

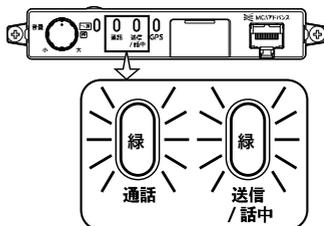


プレストークスイッチを押す

- 「プ プ プ」と呼出音が鳴ったのち、通話ランプと送信／話中ランプが緑色に点灯し、「ピッ」と鳴ります。



プレストークスイッチ

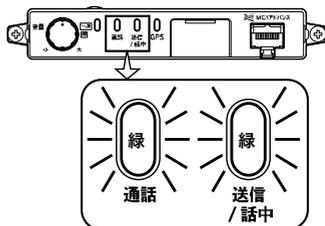


- ・相手との接続に失敗したときは、「プー プー プー プー」と鳴りますので、時間をおくか、場所を変えて再度お試しください。

通話する

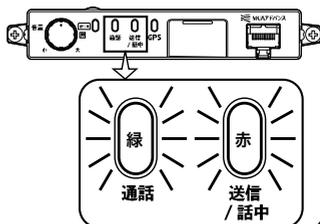
- こちらから音声を送るときは
プレストークスイッチを押しながら話す

本機の送信／話中ランプが緑色に点灯し、「ピッ」と鳴ってからお話しください。



- 相手から音声を受けるときは
プレストークスイッチを離す

本機の送信／話中ランプが赤色に点灯し、相手局の音声聞こえます。



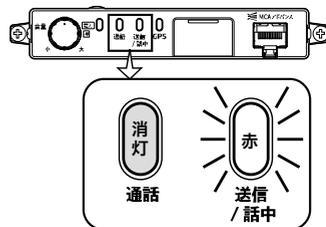
■終話について

通話可能な時間は5分です。残り時間が10秒になると「プップップ」と音が鳴ります。そのまま通話を続けると、「ブー」と音が鳴り、強制的に終話になります。続けて通話を行いたい場合は、プレストークスイッチを一度離してから、再度押して通話を再開してください。

また、自局および相手局がともに送信していない時間が15秒以上続くと終話になります。電波が届かなくなったときにも終話になります。

次の状態のときは通話できません

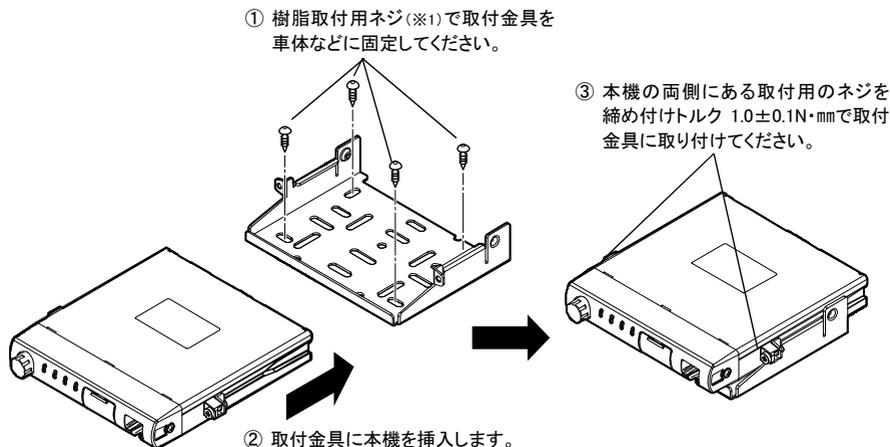
- ◆電源ランプが緑色に点灯し、通話ランプが消灯している状態で、送信／話中ランプが赤色に点灯しているときは通話できません。しばらく待っても状態が変わらない場合は、電波状態の悪い場所の可能性があるので、送信／話中ランプが消灯する地点まで車を移動してください。



設置の際のご注意

■本機を車体に取り付ける

本機は取付金具(オプション品)を使用して車体などに設置することができます。設置方法に合わせて、取付金具を使用してください。



※1 金属板に固定する場合は、ボルトとナットを使用して取り付けてください。

- 取付金具に添付している樹脂取付用ネジ、またはボルトとナットを使用して、車体に確実に取り付けてください。
- 取り付け場所や配線の引き回しは、運転の妨げにならないよう十分配慮してください。
- 冷暖房の吹き出し口には取り付けないでください。
- 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所には取り付けないでください。

■MCA 用アンテナの設置

- 本機とアンテナの接続は確実に行ってください。
- 電波の受信できるところに設置してください。

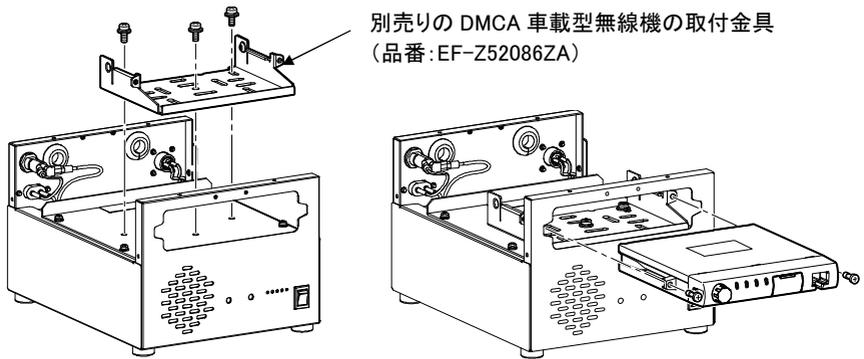
■MVNO ドングルの設置

- MVNO ドングルの接続は確実に行ってください。
- 冷暖房の吹き出し口には取り付けないでください。
- 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所には取り付けないでください。
- 電波が受信できるところに設置してください。

■本機を3ウェイ電源装置に取り付ける

取付金具(オプション品)を使って、3ウェイ電源装置に本機を取り付ける場合、別売りのデジタルMCA移動無線電話装置の取付金具をご準備ください。

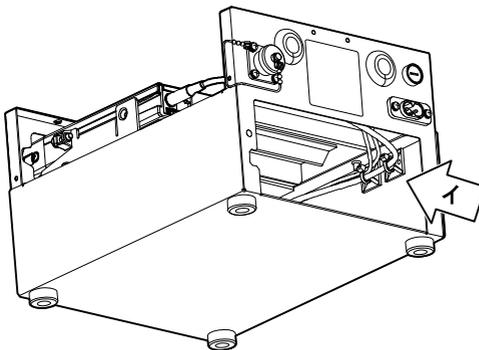
- 取付金具を付属のネジを使用して、3ウェイ電源装置に取り付けます。
- 本機を取付金具に前面からはめ込み左右のビスで締め付けトルク $1.0 \pm 0.1 \text{ N} \cdot \text{mm}$ で取付金具に固定してください。
- 本機および取付金具を3ウェイ電源装置に取付方法の詳細については、3ウェイ電源装置の取扱説明書をご参照ください。



別売りの DMCA 車載型無線機の取付金具
(品番:EF-Z52086ZA)

本機を3ウェイ電源装置に取り付ける際、スピーカーケーブルの余長が足りない場合の取付方法について説明します。

- 3ウェイ電源装置のバッテリーを引き出したのち、下図(矢印イ)の結束バンドを切断します。スピーカーケーブルに余長ができ、本機のスピーカージャックへの取り付けが容易になります。
- バッテリーを組み込むとき、スピーカーケーブルを噛みこまないように注意してください。



保守／点検

■ 日常の保守

- 本機が汚れたときは、乾いた布でふいてください。
アルコールやシンナーを使用しないでください。塗装や表示がはがれたり、くもりが生じたりすることがあります。
- アンテナケーブル、MVNOドングル、電源ケーブル、マイクなどが確実に接続されているか確認してください。
- 本機の各ランプが点灯するか確認してください。
- 本機の取り付けがゆるくなっていないか確認してください。
- 毎日通話して、正常に使用できるか確認してください。

■ 定期保守

- 年に1回は、お買い上げの販売店で定期点検をお受けください。

故障と思われる前に

修理を依頼される前に、もう一度次のことを確認してください。それでもなお異常がある場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因
電源が入らない	車両設置の場合 ●電源ケーブルがはずれていませんか？ ●ACCケーブルがはずれていませんか？ ●車のバッテリーは異常ありませんか？ ●ヒューズが切れていませんか？
	固定設置の場合 ●本機と電源装置の電源スイッチは入っていますか？ ●電源ケーブルがはずれていませんか？ ●電源装置のヒューズが切れていませんか？
通話できない	●電波状態が悪い可能性があります。本機の送信／話中ランプが赤色に点灯していませんか？ ●アンテナケーブルがはずれていませんか？ ●MVNOドングルがはずれていませんか？ ●スピーカーマイクがはずれていませんか？
音が出ない	●音量つまみが最小になっていませんか？ ●スピーカーマイクがはずれていませんか？
受信音が小さい	●送信側でのマイク利用の際、マイクから口を遠く離して使用していませんか？
受信音が割れる、歪む	●送信側でのマイク利用の際、マイクから口を近づけすぎて使用していませんか？
送信／話中ランプが赤色で点滅のままになる	●しばらく待っても、変わらない場合は再度電源を入れ直してください。それでも変わらないときは、販売店にご相談ください。
音が途切れる	●電波が弱い地域や移動しているときには音が途切れることがあります。

■すぐに販売店に

●以下のような状態のときは電源を切り、指令局の場合は電源装置の電源プラグも抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 1) 使用中に焦げ臭いにおいがする
- 2) ヒューズがたびたび切れる
- 3) 誤って水や異物を入れてしまった

仕 様

項 目	仕 様			
電源電圧	DC+13. 8V/DC+26. 4V (マイナス接地専用)			
消費電流 ※	電 源 状態	DC+13. 8V	DC+26. 4V	
		待受け	約0. 3A	約0. 2A
		送信	約0. 4A	約0. 2A
		受信(音声1W出力)	約0. 5A	約0. 3A
寸法	高さ約25mm、幅約140mm、奥行き約150mm (突起物は除く)			
質量	約610g (付属品は除く)			
動作温度、湿度	温度：-20 ~ +60℃ 湿度： 20 ~ 80 %RH (結露なきこと)			
マイクインターフェイス	600Ω -53dBm/600Ω -10dBm			
標準スピーカー出力	1W(8Ω)			
MCA 無線送信出力	23dBm(パワークラス3)			
MCA 無線使用周波数	上り:895~900MHz 下り:940~945MHz			
MCA 無線帯域幅	5MHz			
MCA 無線アンテナ接続	N接栓(ビッグテール構造)			

※ スピーカーマイク、MVNOシングル接続状態での値です。接続機器及び電波状態によって、変動します。

保証とアフターサービス

◎保証書(別添付)

- 保証書は「販売店名・お買い上げ日」などの記入を必ずお確かめになり、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- 異常にお気づきのときは、「故障と思われる前に」の表にしたがってご確認のあと、直らないときは、必ず電源ケーブルを外してからお買い上げの販売店にご連絡ください。

◎保証期間中の修理

- お求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

◎保証期間後の修理

- お求めの販売店にご相談ください。

使い方・お手入れ・修理などは、
まず、お買い求め先へご相談ください

便利メモ(お買い上げの際に記入されると便利です。)

お買い上げ日	年 月 日	品番	TEF-6T705A
販売店名	電話 () —		



Radio Communication Solutions

株式会社 ジャパンエニックス

JAPAN ENIX CO.,LTD.

- 本 社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351
- 関 西 支 店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700
- 札幌営業所 名古屋営業所
- 仙台営業所 九州営業所

<https://www.jenix.co.jp/> 営業所住所はこちら▶



製造元

〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1244番地
トム通信工業株式会社